

## 2021 J3 ■順位表■第25節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）  
（注：#印は消化試合が  
数字分多い）

1	熊本	46p	+17	34	17	H●
1#2	宮崎	44p	+10	36	26	HO
3	岩手	42p	+10	35	25	AO H△
4	富山	41p	+8	35	27	A●
1#5	福島	40p	+8	35	27	AO H●
6	岐阜	37p	+5	32	27	---
7	鹿児島	35p	+3	31	28	HO A●
8	YS横浜	34p	-1	25	26	H● AO
1#9	長野	30p	+5	31	26	A● HO
10	藤枝	28p	+3	37	34	AO
11	八戸	25p	-13	21	34	H△
1#12	沼津	22p	-12	27	39	HO A△
13	今治	20p	-5	24	29	A● HO
1#14	讃岐	20p	-15	17	32	HO A△
15	鳥取	17p	-23	23	46	AO H●

## 次回HomeGame

第29節(Home最終戦) vs.藤枝MYFC

11/28 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場大酒場 **ホームラン**名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

## today's guest : カターレ富山

2020 J3 15勝 5分14敗 勝ち点50: 9位

## 直近の対決と結果

2021/04/25  
J3 - 6節@富山

富山 1-0 岐阜

## ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	カターレ富山
2021/10/31 J3 - 25節@愛鷹 沼津 1-1 岐阜	2021/10/30 J3 - 25節@富山 富山 0-1 YS横浜
2021/10/24 J3 - 24節@長良川 岐阜 3-2 長野	2021/10/24 J3 - 24節@夢スタ 今治 4-2 富山
2021/10/17 J3 - 23節@長良川 岐阜 2-2 岩手	2021/10/17 J3 - 23節@富山 富山 1-0 讃岐

●シーズンも残り1/4となり、いよいよ終盤戦に入る2021年J3リーグ。そして、ギリギリの状態でもJ2昇格にわずかな望みを繋いでいるFC岐阜は、10/24(日)第24節・ホームに長野を迎えた。前半に先制され、後半すぐに連続ゴールで逆転に成功するが、すぐまた失点し同点に。しかし、最後は#10川西翔太のゴールが決勝点となり、3-2で勝利。点の取り合いとなった試合を制することができた。続く10/31(日)第25節・アウェイ沼津戦では、前半はFKから先制したものの、後半になると押し込まれ、CKで同点にされてしまう。その後反撃を試みるものの、ゴールを奪うことはできずに1-1のドロー。非常に残念な結果となってしまった。

この2試合で連勝を果たしたかったFC岐阜だが、結果は1勝1分の成績に。幸いなことに、上位5チームで連勝できたチームが無かったため、岐阜の順位は6位と変わらなかったが、2位・宮崎との勝ち点差は10から7に縮めることができた。ただし、岐阜が連勝できていれば宮崎との勝ち点差は5。昇格の可能性が再び現実味を帯びたはずだけに、悔やんでも悔やみきれない。今シーズンは残り5試合。一般的に言われる『追いつける勝ち点差は1試合で1点』からすれば、2試合で勝ち点差3を縮めたことを、今はポジティブに考えるしかないし、昇格の可能性がゼロになった訳ではない。最後まで決して諦めずに勝ち続けるしか、他に方法はない。選手たちには、目の前の1試合で勝利を目指すということ、1点でも多くゴールを奪うということに、90分間全力で集中して欲しい。今日も最後まで、チーム全員がひたむきに走り抜いて、そしてゴールを奪って勝利する姿を、僕らFC岐阜サポーターに見せて欲しい。

さて、今節の対戦相手はカターレ富山だ。7シーズン目のJ3となる今季は、Jリーグで最多指揮・最多勝利を誇る石崎信弘氏を監督に招へい。また4月には、複数のJクラブの経営に携わったことで知られる左伴繁雄氏が社長に就任してフロント体制も強化。そして今季は開幕からJ3優勝・J2昇格争いを繰り広げ、シーズン前半戦折り返し時点では7勝5分2敗で首位に。だが、後半戦に入ると4勝4敗と勢いが弱り、現在は4位に後退しているチームだ。しかし2位・宮崎との勝ち点差は3で、まだ逆転できる可能性を十分に残しているし、今治とYS横浜との直近2試合を連敗して危機感も強まり、今日の一戦に懸ける気持ちは強いだろう。とはいえ、岐阜はもしも今日の試合で負けてしまうことがあれば、富山との勝ち点差は7に拡がり、それこそ絶望的だ。絶対に勝たなければならないという意味では、僕らの方が気持ちが強いはずだ。

富山でも警戒すべき選手には、現在7得点の#9大野耀平を挙げるところだが、最近では出場時間も短いため、後半戦に入って3得点のMF#17姫野宥弥と、夏の移籍期間に加入し2得点のブラジル人FW#28マテウス・レイリアを挙げる。また、直近3試合のセットプレーで2得点の#4戸根一誓も要注意だ。そして、富山との通算対戦成績は、岐阜の5勝5分6敗・18得点18失点。ただし、これは2014年までのJ2での戦績も含まれており、J3での2シーズンでは1勝1分1敗・2得点2失点と全くの互角だ。昨年のホーム戦11/8(日)第26節は0-0のドロー。直近対戦の4/25(日)第6節は、選手の新型コロナ感染で延期された試合だった。PKで与えてしまった1点が遠かった岐阜は、そのまま0-1で敗戦している。今日こそは、そのリベンジを果たして“勝ち点6マッチ”を制しなくてはならない。

新型コロナによる感染者数は全国的には減少傾向にあるものの、岐阜県内では比較的多く、引き続き警戒が求められる状況だ。一方で、“ポストコロナ”のスタジアムのあり方として、昨月から「ワクチン・検査パッケージ」と呼ばれる実証実験が始まり、そして遂に「大旗の使用」と「タオマフを振り回す行為」が解禁されることになった。残念ながら解禁は次節からとなり、また引き続きマスクを外したり声を出すことは禁止で感染防止措置の徹底が求められるが、少しずつ“スタジアムの日常”が帰ってくる。したがって、僕らはあと少し、声を出して選手を鼓舞したい気持ちを抑えて、今のままで、戦う選手たちの後押しをしよう。タオマフやゲーフラなどの掲出(振るのは禁止)でスタジアムを緑に染め、(声は絶対に出さずに)拍手や鳴り物の音をスタジアムに響かせよう。そして、勝利の歓喜を分かち合おう。(ささたく)

投稿募集!! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第24節】岐阜3-2長野

●ちょっと前まで暑かったのに急に冷え込んできて、いよいよシーズンも終盤戦。勝つしかないのに、2試合連続の引き分け。僕らの心には既に寒冷前線が到来しているという説もあります(苦笑)、まだ諦める訳にはいかない。

……と僕は思ってるのに、岩手に引き分けた時と同じスタメン、同じような戦術なのは何故ですか……(溜息)。相変わらず、DFラインからのロングボールが繋がらない。まあ、後方で下手にボール回して奪われてショートカウンター浴びるよりは、大きくクリアして……ってのは分かる。だけど、無闇に蹴り出しつつもラインの押し上げ・プレスが足りないので、簡単に相手にボールを再奪取される。守備の時間が長くなると心身とも疲労してミスするよ？それに、ゴールキックの落下地点に味方が誰もいないのは、流石に何とかならんモンですかね……。前半終盤に先制点を奪われたシーンも、クリアを跳ね返され、相手にボールが収まったところに寄せが甘く、脇を通されたシュートだった。GKにはブラインドになったのも失点の要因だけど、あそこで足をしっかり振った長野の選手を誉めるべきじゃないかな。これはこの試合も厳しいか……と書いていたら、後半すぐに#2橋本和がDFラインを突破して中央に折り返し、逆サイドから詰めていた#19窪田稜が加入初ゴール！その喜びも冷めやらぬ間に、今度は敵陣でプレスをかけてボールを奪った#42柏木陽介が、相手を引きつけておいてノールックで#44深堀隼平にパス、伸ばした足にボールを当ててゴールに転がして逆転！そうだよやっぱりデュエルで勝つことが重要なんだよ！……って喜んだんですけどね。またすぐ、寄せが甘かったところで長野の選手が足を振ってきて、同点に追いつかれるってのは、どう考えたら良いんでしょうか……(溜息)。ただ、岐阜にとって幸いだったのは、新型コロナ感染の影響で、長野は水曜に八戸アウェイ戦があり(しかも引き分け)、中3日でのアウェイだったってことだろう。あとは、割と#10川西翔太と#42柏木が中盤でボールを回すことができているのが奏功したのかな？後半の飲水タイムぐらいから徐々に長野の選手たちは動きが鈍くなり、岐阜がシュートを撃つ機会が増えてくる。そして、#4甲斐健太郎が撃ったシュート？パス？を#10川西が拾って、狭いエリアでも思い切りよく足を振り抜いた結果、相手をすり抜けてネットを突き刺すゴール！これが決勝点となって、今季初の逆転勝利。開幕戦以来の4000人超え、今季最多の観客の前で歓喜を分かち合った。中3日の相手をフィジカルで圧倒できなかったとか、#8中島賢星の勿体なさ過ぎる警告(そして次節累積出場停止)とか、反省点はいっぱいあるけど、勝たなければ何にもならないので、その点では良かったと思う。ところで、「岐阜市民総力戦」で勝ったのって……いつ以来？もしかして、はじめて？(苦笑)

なんと宮崎が負けたので、岐阜との勝ち点差が7に縮まった。そして負けた長野は、これで昇格圏内との勝ち点差が16。ほぼ今季の昇格は絶望的になり、顔を覆って引き上げる選手が何人もいた。その必死さが、中3日とはいえ、彼らの身体を突き動かしていたのかもしれない。僕らも、いつこうなるか分からない。長野の選手たちに健闘を称える拍手を送りながら、だけど僕らは最後までこうなるものかと、そういう思いを新たにしていた。

(ささたく)

●珍しく、前半からイイ感じじゃね？でも、ソレは決めてよ、柏木サン！とか思った矢先に失点。アレはないだろ、マツタクさん……と、失点の瞬間は頭を抱えたけど、リプレイを見るとシュートの軌道が変化してた。しかたないか。それでも、終了間際にチャンスを作り、「悪くない。」と思ってたら、後半開始早々に電光石火の逆転劇。レンタル移籍のリョウとシュンペーがやってくれました！ところが、次の瞬間！って感じで追いつかれて。いや、今度はマツタクさんにノーチャンス。そんなシーソーゲームに、文字通りケリを付けたのはキング。

キャプテンの鬼パスをよく止めたね。それでも、ギリギリまでヒヤヒヤ。終了間際に、あんな位置でファウルすんなや(苦笑)宮阪だぞ？長野のキッカー。直接狙いじゃなくて助かったんじゃないかな？

しかし、ようやく勝てたね>岐阜市民総力戦。柏木サンがよく目立ってたし、賢星が素晴らしかったし、リョウもキレてた。岐阜での初ゴール、おめでとう！実にイイ試合。こういうのが続けば、残り全勝も夢じゃない。残り6試合。6ポイントマッチが2。ウチより下位が3。全部勝って迎える最終節までにくまモンが昇格決定してるか、どうか。う～ん、陰しいねえ。どのみち、勝ち続けなきゃお仕舞いだからね。最近、覚醒したか？の感がある賢星が、次節有休なのは痛いけど、彼が不在でも下位に勝たなきゃ話にならない。とはいえ、下位といえども前日の今治や藤枝を見てるとね。ただでさえ、下位に優しくするのが性分のウチだから(苦笑)。まずは、次節の沼津戦。頼んだよ！

(ぐん)

●試合終了後に「このサッカーが出来れば、負ける気がしねえ！」とヒーローっぽい強気発言を披露してくれた選手がいたけど、一部の文言を加筆補足すればばくも同意できる。「このサッカーが出来れば」→「このサッカーが『他の相手にも』出来れば」だ。

長野のシステムは、攻撃寄りな選手の宮阪を1ボランチに置いての4-1-4-1。ただでさえ1ボラの負担が重くなるのに、岐阜のシステムは3-4-2-1。しかも「2」は川西と柏木だ。宮阪ひとりで面倒が視れるようなタレントではない。だから、前半から岐阜の攻撃陣はめちゃくちゃやりやすそうだった。ぶっちゃけ、前半で勝負をつけてしまうことも出来ると思った。そこへ降って湧いたような長野・三田の先制ゴール。

でも、なにが良かったかって、失点がいわゆる「いい時間帯」だったこと。これが後半開始早々だったら、選手はまた観客の溜め息が気になって、プレーが委縮してしまったかもしれない(ちょっとクドいかな？でも今季は拘ります)。

いくらなんでも長野は後半からは1ボラのところを修正してくるだろうから、それからどうするかだな……と書いてたんだけど、「あれ？宮阪1ボラのまま？」。窪ちゃんは相変わらず長野の左SBとの駆けっこに全勝で、同点ゴールも右から最前線に飛び出して決めるし、勝ち越しゴールは、そりゃあそこで柏木をフリーにしたらそうなるよ、と理解しつつも惚れ惚れするノールックのスルーパス、今度は深堀がキッチリ決めてくれた。ぼくは長野のチーム事情はわからない。わからないけれど、宮阪の周囲が燃え盛ってしまうことを承知で殴り合いに行くしかなかったんだろうな。実際、すぐに追いついて殴り合いに持ち込めたわけだし。

でも、ここでもう一つのパラメータ、「長野は水曜に八戸でアウェイ戦を戦っている」が発動して、川西の再びの勝ち越しゴール。カイケンのアレはシュートだったのかな？(笑)。その後は大きなピンチもなく押し切り勝ち。やっぱりホームで勝つっていいね。

でも、「このサッカーが出来れば」なんて安易に将来を語れないのは、上に書いた通り。普通は川西と柏木があんなに自由にはプレー出来ないし、後半になって相手が岐阜より先にしかも明確に止まってしまうことも、おそろくない。つまり、今後も岐阜側の能動的要因で「このサッカーが『他の相手にも』出来る」という保証は全然ない。でも、富山、宮崎、熊本と上位との対戦を残している中で、もし「このサッカーが『他の相手にも』出来る」のなら、残りわずかになった今季のJ3リーグで、岐阜は昇格争いの中のいいスパイス的存在になれるだろう。

(吉田铸造)

## 【第25節】沼津1-1 岐阜

●小雨の降る少し肌寒い天候だったけれど、連勝を期すべくアウェイ・愛鷹の地に大勢の岐阜サポが詰めかけた。入場者が1700人だったから、700人ぐらいは岐阜サポだったんじゃないだろうか？

スタメンは、出場停止の#8中島賢星に代わり#6三島頌平。そして…相手が沼津だからなのか、プレスのやり方を少し変えたのかな？#6三島や#42 柏木陽介が素早く寄せてボールを奪って攻撃に繋げる場面が何度も見られた。それと、「おお！スローインで意図のあるプレーが！」(苦笑)。そんなことで喜んでちゃダメなんだけど、ようやく練習はじめてたんでしょうか。練習見学に行けた方、ご教示くださいませ(笑)。

そして先制点は、僕も不意を突かれました(苦笑)。見づらいゴール裏の芝生席、反対側でのFKだなあと気を逸らしたら、あれれ？入ったぞ？と(笑)。クイックで狙い定めて蹴った#42 柏木陽介も素晴らしかったし、ゴール前に走り込んでいた#44 深堀隼平もGJでした。その後は、追加点が欲しかったけれど奪えないまま、ほぼ危なげなく前半が終了。

こうなってくると、問題となるのが後半の入り方。当然、沼津はまずは同点に追いつくべく勢いを強めてくるはずで、それをかわして(あるいは跳ね返して)追加点を獲るのが重要だと僕は思っていた。『失点リスクは避けたいけれど、セットプレーなどでの“事故”を考慮すると、追加点を奪って突き放す方が得策。そして今後の得失点差の影響を考えると、1点でも多く得点を奪いたい』と。だけど…前半のボール奪取が思ったよりも上手くいったからか、あるいは沼津の選手たちの当たりがかなり荒かったからか、なんだか岐阜の選手たちがそれほど無理をしないプレーを選択するように僕は感じて、なんだか不安になっていた。そして、後半74分に3枚替え…『えっ!?!』と驚いたのは、僕だけではなかっただろう。3人交替そのものは、同じ戦術がきちんと遂行できるのであれば、悪いことではない。こんな時間から守備固めをするのも、追加点が欲しいけれどこのまま無失点で終われるのならば、まあ悪いことではない。だけど、それまでボール奪取に貢献していた選手を替えて、バランスが取れるのか？もっと攻撃的な選手を投入して、『殴り勝ってこい』ぐらいのメッセージをピッチに送らなくて良いのか？と思ってたら、悪い予感的中してしまい、CKの一撃で失点ですよ…(溜息)。誰もマークしてなかった。寄せも甘かった。なにより、CKを獲られたプレーまでの流れも、ふんわりと緩かった。沼津は、あのCKをダイレクトボレーするという思い切りの良い選択をして、それが得点に繋がった。一方の岐阜は、先制点を奪ったとはいえFKでの1点。流れで奪ったものではないし、前半から何度もシュートチャンスがあったのに、そのプレーを選択しない場面が目についた。シュートは撃たなきゃ入らない。もちろん『たれば』的な側面もあるけれど、思い切って足を振れば、ボールがすり抜けたり跳ね返ったり、何が起こるか分からないってのは、長野戦で嫌というほど成功&失敗の両方を体験したんじゃないの？その後、慌てて攻撃重視にシフトして、無理してシュートを撃ったけれど、これが入らない。#41 吉濱遼平の決定機、あれは惜しかったし決めて欲しかったけれど、勇気を持って撃った#41 吉濱を責めるプレーでは無いと思う。そして、スタッツでのシュート数はわずかに6本。複数得点を狙って勝つ試合のシュート数では、到底ないよね(溜息)。チーム全体で、マリアナ海溝の如く深く反省してもらいたい。

あまりに痛すぎる、引き分け。これはもう…と思ったなら、なんと宮崎も引き分け、熊本は負けてました(苦笑)。最後の最後まで、サッカーの神様はJ3を盛り上げたいんでしょうか。そろそろ僕のメンタルは悲鳴をあげそうなんです(苦笑)、まだ希望があるなら、諦めたくはないものです。(ささたく)

●う～ん、残念……。勝ち切れなかったか。ただ、80分の遼平、アディショナルタイムのシュンペー。決定的な場面で決め切れなかったんだからしょうがない。沼津にも、マツタケの正面に飛んだシュートの他、決定機はあった。内容的にドロローは妥当かな。雨の中、お疲れ様でした>選手&現地組。しかし、結局、10月は負けなしなのか。おまけに、上位も結構、取りこぼしというか、足踏み状態。一縷の望みが残っちゃって、なかなか楽にしてもらえないね(苦笑)。それにしても、ここんとこの横浜はどうなってんの？再開初戦でウチに0-3だった以降は無敗なんでしょ？この後も、ウチの上位との対戦多いし、熊本共々頑張っしてほしいな。他力本願寺を建立して、思いっきり、念じ続けますよ(笑)。ウチ？ウチはもう、念じるも信じるもない。勝ち続けるしかないんだから。まずは、富山に勝つ。それだけです。(ぐん)

## J2 昇格の可能性を整理します

●岐阜の選手は「残り試合、全部勝つつもりでやっている」とインタビューで答えています。まあ、実際にJ2昇格に際してはそのくらいの戦績でないと厳しいのですが、では「本当に残り試合を全部勝って勝ち点15を積んだらJ2昇格の可能性はどのくらい上がるのか？」を検証してみました。現在、2~5位にいる宮崎・岩手・富山・福島の4チームをすべて抜き去らねばなりません。

●2位：宮崎との勝ち点差は7。しかし、宮崎はリーグ後期の『お休み』を消化していません。つまり1試合多く終えている状態なので残りは4試合。しかも、岐阜との直接対決があります。宮崎は(岐阜戦を落とすことになるので)他の3試合を全部勝利すると勝ち点を9積めるので岐阜は届きません。でも、1試合でも引き分けがあると積める勝ち点は最大で7になるので岐阜が抜くことが可能です。宮崎の残り試合の相手は讃岐・岐阜・富山・熊本……骨のある相手が多いですね。「日程くん」、恐るべし(笑)。

●3位：岩手との勝ち点差は5。直接対決を終えていますし、岩手は『お休み』消化も終えているので、岩手は3勝1分1敗かそれを下回る成績を期待することになります。今後の岩手の対戦相手は、熊本・YS横浜・讃岐・富山・沼津。ここもかなり骨っぽい。特に、最近絶好調のYS横浜との試合を残しているため、可能性はそれほど低くありません。

●4位：富山との勝ち点差は4。岐阜5連勝を前提にしたシミュレートですから、今日の激突で岐阜が勝つので両者の勝ち点差は1に縮まります。『お休み』消化を終えている富山は岐阜戦を除く残り4試合で1試合でも引き分けがあると宮崎と同様に岐阜に抜かれます。今後の富山の対戦相手は、岐阜・熊本・宮崎・岩手・鹿児島……骨っぽいどころか、ほぼ上位陣ばかり。「日程くん」、仕事し過ぎです(笑)。

●5位：福島との勝ち点差は3。宮崎と同様に『お休み』を消化していないので、岐阜5連勝が前提なので自動的に勝ち点3のアドヴァンテージは消え、4連勝してさらに得失点差合計で上回らないと岐阜より上位に行けません。今後の福島の対戦相手は、今治・長野・YS横浜・讃岐。昇格争い組との対戦を終えているとはいえ、ここもYS横浜戦を抱えていますし、4連勝はなかなか難儀なミッションに見えます。

●このように整理すると、実は「本当に残り試合を全部勝って勝ち点15を積めたら」岐阜の2位滑り込みは「無理ゲーだつて！」ってほどではないんですね。もちろん、岐阜だって残り試合の相手(富山・宮崎・八戸・藤枝・熊本)を考えたら、『5試合を全部勝つ』のはライトノベルのように「異世界からサッカーの勇者が選手の中に降りてきてチートスキルで無双する」くらいの展開が必要なんです(苦笑)、それを期待するのがサポというもの……かもしれません。(吉田铸造)